

各地域委員会における主な活動状況等

※R1. 8. 29「委員長・副委員長会議」より

	主な課題	現在の活動状況等	今後の取組予定等
中之島	<ul style="list-style-type: none"> ・若手がいらない、顔が見えない。 ・中之島には8つの地域があるが、それぞれがどういうことをやっているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者会議が Yoru・Cafe を開催した。今まで顔が見えていなかった人たちが見えて、大変好評だった。地域委員が若者会議のメンバーとなって主催している。 ・女性を対象にピザを焼くなどして、中之島はどういうところなのか、来たときの印象などを話し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性向けに「男のビアトーク」を開催し、中之島について語ってもらう予定。
越路	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が何をするのが見えていない。 ・観光協会の利活用計画が白紙 ・地域の1番の市街地は来迎寺地区だが、来迎寺駅前が更地になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もみじ園は昨年度8万5千人ほどの集客があった。現在、市がもみじ茶屋を整備しており、10月中旬頃竣工予定。 ・越路まちづくり協議会がていしゃばフェスを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よったかり場をつくる。 ・地域全体でお金を生み出す、交流人口をつくる役割も生み出していきたい。
三島	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線が使えなくなったときの情報伝達の手段や防災体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・三島地域の活性化に向けた提案を行った。 ・安全で安心して暮らせる地域づくりとしての提案を作成し、全戸配布した。 ・児童や利用団体による施設補修ボランティアやコミセンまちづくり部会を中心に、三島中央公園を会場に草刈り等の管理作業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントは三島地域の若者が主体となって開催している。今後も若者が育っていくように応援していきたい。
山古志	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所の医師不足 ・公共交通がない ・除雪体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域委員のメンバーはほとんどが NPO などの団体に入っている。それぞれの問題について検討するが、結果的にはその団体に地域委員会と同じようなスタンスで考えてもらいながら進めている。 	

<p>小 国</p>	<p>・若い人がいない</p>	<p>・イベント、まつりは若い人ではなく中高年が頑張っている。 ・これまではどうすれば若い人が来てくれるかを一番に考えていたが、意識改革をし、今いる中高年のメンバーが中心となってやっという考えを切り替えた。 ・できる人たちが、自分たちも楽しめるようにやっという、それでいいと思う。どうしても出てくれではなく、自分も楽しめるようにそういう仲間でやっというのがいいと思う。 ・男の料理、体操、生活など、男性を中心としたことをやっている。</p>	<p>・コミセンを中心によったかり場としてこれからやっといういきたい。 ・中之島や越路など他の地域の方とも交流をもつて、いろいろとお話をしたい。外に出て小国を見る、外に出て小国を見直すことをやっといういきたい。</p>
<p>和 島</p>	<p>・生活交通の確保</p>	<p>・割烹でバスを持っている人から協力してもらい、民生委員や社会福祉協議会の方からも委員に入ってもらい、医者などの公共的なところをまわるよう午前1回、午後1回の実証実験を行うところまできた。</p>	<p>・どういふうにやったら成功するか、皆さんによろこんでいただけるかを考えながらやるのが地域委員会の成果でもあると思う。</p>
<p>寺 泊</p>	<p>・交通対策と少子高齢化</p>	<p>・委員会ではソフト面について議論をしている。現在、歴史街道を整備する話が進んでいる。 ・ふる創基金事業では公募募集を出したところ3団体が応募した。 ・鮭の塩引き体験等はすぐに申込が終わった。</p>	<p>・川口地域など、他地域とも一緒にやっというければどうかと思う。</p>
<p>栃 尾</p>	<p>・救急体制 ・少子高齢化 ・宿泊施設不足</p>	<p>・栃尾では必ず一期終わるごとに提案書を出している。 ・少子化で悩んでいるが、高齢者がイキイキと過ごせるような栃尾にしたらどうかと考えている。 ・日赤に行くのに1時間半では間に合わないが、ドクターヘリであれば5分でいけるため、住民と意見交換を行い決まった。 ・支所は耐震性がない。耐震性のある、きちんとした拠点をつくろうと意見を出してもらった。 ・おいらこの湯も地域委員で意見を出して出来上がった。 ・栃尾では、空いた小学校を活用し、若者が自分たちの絵や作品を飾り、芸術祭をやるなどして地域おこしをしている。</p>	<p>・滞在型宿泊施設が不足している。空き家の活用をし、外国人からや長岡花火の際に利用がある。地域委員にも協力をお願いしたい。</p>

<p>与板</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災 ・交通弱者への対応 ・公共施設の老朽化や交流人口の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで地域の宝や子育て支援について話し合ってきた。 ・地区防災センター、与板体育館があるが、水害や土砂崩れなどについては備えは十分ではない ・連合町内会は多くの地域で組織されているが、与板ではまだ組織されていない。 ・在宅サービス、デマンドバス、コミュニティバスなどあるが、話し合いはまだこれから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の運営、防災経路などについて話をしていきたい。 ・既に組織されている地域を参考に、連合町内会について、話し合っていきたい。
<p>川口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東川口の公共施設のあり方 ・人口減少、高齢者対策 ・子育て環境の整備 ・集落コミュニティ維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・川口支所においては耐震補強が必要と診断されており、防災拠点としての機能に支障をきたすことが危惧されている。 ・観光交流の振興。川口やな場がリニューアルオープンした。 ・他に川口温泉、ホテルサンローラ、運動公園があるが、連携した誘客が必要。 ・新たに若者が加わり、川口の現状を見せながら人口減少、高齢者対策、子育て環境、集落コミュニティ維持の課題を出してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東川口保育園の移転については、今年度、再検討することになった。5年後10年後の川口地域について検討していきたい。